

第 28 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：令和元年 7 月 17 日（水） 15：00～16：30

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第 2 大会議室

1. 「初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定」の戦略的提案について

NDF から、「初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定」の戦略的提案について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 戦略的提案のまとめに際しては、その内容を戦略プランに展開するにあたり、これまでの経験を俯瞰しつつ簡潔な資料構成とすること等により、より良い理解が得られるよう丁寧に説明することを心がけるべきである。
- 安全かつ着実に燃料デブリを取り出し、収納・移送・保管するまでの一連の作業を早期に開始・継続し、その後の展開に向けて必要な情報・経験を得ることは、1～3号機の燃料デブリ全体のリスク低減を確実に達成することに大きく寄与する。この点からも、2号機でアーム型アクセス装置等を用いて小規模な取り出しから始める方向性は適切である。
- α核種の取り扱いについては、これまでの各種作業における経験を有効活用する等により、積極的に対応の具体化に向けて検討を進めていくことが肝要である。
- 「初号機」で得られた知見を踏まえつつ、「取り出し規模の拡大や初号機以外の号機での取り出し」に向けての検討を継続的かつ並行して実施していくべきである。また、その際には、データのとり方や経験の積み重ね方についても合わせて議論されるべきである。

以上